



# ADRC Highlights

Asian Disaster Reduction Center Monthly News

Vol. 366  
September  
2023

## トピックス

### お知らせ

アジア防災会議2023

### 関係機関との協力推進

▶ 準天頂衛星システム  
DCレポートのマレーシアでの実証実験

▶ 第1回災害リスク軽減のための気候変動予測に関するウェビナー

▶ JICA課題別研修「中央アジア・コーカサス総合防災」

### 国際会議への参加

災害レジリエンスに関するASEAN地域間ダイアログ (AIDDR)

## Asian Disaster Reduction Center アジア防災センター

〒651-0073  
神戸市中央区脇浜海岸通  
1-5-2 東館5F

Tel: 078-262-5540  
Fax: 078-262-5546  
editor@adrc.asia  
https://www.adrc.asia

© ADRC 2023

## ●お知らせ

### アジア防災会議2023

前号でお知らせの通り、  
アジア防災センター

(ADRC) は、2023年10月20日、今年度のアジア防災会議2023 (ACDR2023) 「効果的な防災対策の実施 - 防災分野におけるデジタルトランスフォーメーション

(DX) の推進-」を、タジキスタン緊急事態委員会 (CoES) 及び内閣府との共

催で、タジキスタン・ドゥシャンベにおいて開催します。本会議は、対面およびオンラインのハイブリッド方式で開催されます。

会議の詳細は以下の通りとなっております。本会議への対面およびオンライン参加ご希望の方は、以下のサイトからご登録ください。

<ACDR2023ウェブサイト>

<https://acdr.adrc.asia/>

<日時>

2023年10月20日 (金) 9:00-17:00 (現地時間、UTC+5)

<プログラム案> (2023年9月29日現在)

午前

- 開会
- ラウンドテーブル：仙台防災枠組 (SFDRR) の進捗に関するメンバー国からの発表

午後

- セッション1：災害に強い社会のための革新的な解決策：地震や地盤災害に対する防災技術
- セッション2：気候危機への適応：GLOFsや森林火災や洪水の観測と対応への革新的取り組み
- 閉会

本会議の最新アジェンダ等の最新情報は、順次、上述のACDR2023のホームページで更新していきます。多くの皆様にお会いできるのを楽しみにしております。



## ●関係機関との協力推進

### 準天頂衛星システム DCレポートのマレーシアでの実証実験

準天頂衛星システム（QZSS）のサービスのひとつに、内閣府宇宙開発戦略推進事務局（NSPS-CAO）がアジア太平洋地域の国々で推進している「災害・危機管理衛星レポート（DCレポート）」があります。QZSSは、警報メッセージを地上に送信することができ、インターネットや携帯電話の通信システムがない地域でも有効です。また、既存の地上通信システムが異常災害によって被害を受けた場合の冗長システムとしても機能します。

NSPS-CAOの監督の下、ADRC、アジア航測株式会社、株式会社NTTデータの代表者で構成されるプロジェクトチームが2023年8月21日から25日にかけてマレーシアを訪問し、QZSS DCレポート技術のデモンストレーションを行いました。マレーシア工科大学の防災センターの現地支援により、プロジェクトチームは以下の主要な活動を行いました。

- 1) プトラジャヤのマレーシア首相府国家災害管理庁（NADMA）を訪問し、QZSSのDCレポート技術について主要関係者に説明
- 2) セランゴール州フルランガットの町を2日間連続で訪問し、QZSSプロトタイプ受信機のセットアップ、デモンストレーション、テスト、性能について議論
- 3) 主要政府機関および関係者を招集し、災害早期警報システムに関する各地域の取り組みを共有するとともに、現地の参加者全員に調査票を配布
- 4) 次のステップについて議論

マレーシアでのQZSS DCレポート実証実験では、フルランガットでテストされたプロトタイプ受信機がQZSSを通じて送信された警報メッセージを受信できることが示されました。このデモンストレーションの結果、現地関係からは、特段の関心があり、マレーシアの既存の早期警報技術や慣行と統合する選択肢についてプロジェクトチームと議論を行いました。



NADMA長官Datuk Khairul Shahril Bin Idrus も本プロジェクトのブリーフィングを聴講



プロジェクトチームによる参加者への説明の様子

## 第1回災害リスク軽減のための気候変動予測に関するウェビナー

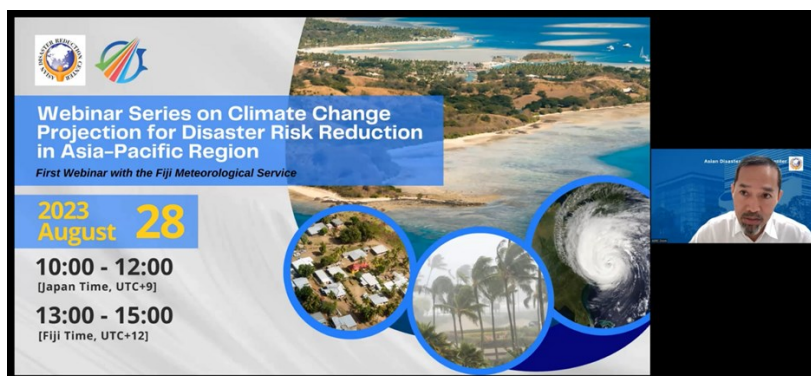
ADRCは、気候変動予測先端研究プログラム（SENTAN）と、2023年8月28日に「アジア太平洋地域における災害リスク軽減のための気候変動影響予測」に関する第1回ウェビナーを共同開催しました。本ウェビナーでは、フィジー気象局（FMS）の気候学科学官ジャスニール・チャンドラ氏が、フィジーにおける気候変動の影響について発表を行いました。チャンドラ氏は、フィジーのラウトカ埠頭の海面が1993年から2022年の間に年率4.3mmで上昇していることを報告しました。そ

## 続き

の結果、いくつかの村（VeivatuloaやVunidogoloaなど）では海水が浸水しやすくなり、沿岸部の多くの家屋が移転を余儀なくされる事態となっています。

ウェビナーの目的の一つは気候変動予測の結果を共有することであるため、以下の日本人専門家もフィジーの気候変動に関連した発表を行いました。

- 1) 京都大学防災研究所 気象・水象災害研究部門 森信人 教授
- 2) 気象庁気象研究所 応用気象研究部 第二研究室 仲江川敏之 室長
- 3) 気象庁気象研究所 応用気象研究部 第一研究室 村田昭彦 室長
- 4) 水災害・リスクマネジメント国際センター（ICARM） 森範行 グループ長
- 5) 京都大学大学院工学研究科 社会基盤工学専攻 水工学講座 水文・水資源学分野 立川 康人 教授



ウェビナーに参加のポトゥタンADRC主任研究員

小林健一郎准教授（神戸大学）、ジェリー・ポトゥタン主任研究員（ADRC）が、共同ファシリテーターを務めました。資料はウェブサイト

(<https://www.adrc.asia/sentanpro/webinar01.html>) からアクセスできます。

## JICA課題別研修「中央アジア・コーカサス総合防災」

ADRCは、2023年6月16日から8月8日にかけて、JICA課題別研修「中央アジア・コーカサス総合防災」コースをJICA関西との協力により実施しました。アルメニア、カザフスタン、キルギス、トルクメニスタン、ウズベキスタンの5か国から8名の防災担当行政官が参加し、災害対策の推進に向けた地方防災計画策定・実践の手法について学びました。

前半の4週間はオンラインによる講義や演習を行いました。後半の3週間は日本で対面研修を行い、兵庫県、新潟県、群馬県、茨城県の防災関連機関の視察や講義を通じて、日本の災害対策を学びました。最終日には研修を通じて作成した各国の地方防災計画案を発表しました。研修員の皆さんはお互いの国の防災計画について積極的に意見を交わし、災害対策における地域間の課題を共有することができました。

本研修実施にあたり、ご協力いただいた各関係機関のご担当者、講師の皆様に厚く御礼申し上げます。



烏川流域の砂防施設の視察（群馬県）

## ●国際会議への参加

### 災害レジリエンスに関するASEAN地域間ダイアログ (AIDDR)

ADRCは、2023年8月21日にシンガポールで開催された第1回災害レジリエンスに関するASEAN地域間ダイアログ (AIDDR) に参加しました。AIDDRは、「越境リスクからのレジリエンス構築に関する地域的視点」をテーマに、アジア太平洋地域の地域機関を招集し、越境災害リスクおよびその他の新たな災害リスクに関する問題への影響を理解し、管理し、軽減するための戦略と現在のアプローチを探求しました。AIDDRは、以下の2つの主要な目的を達成することを目指しました。



AIDRRの参加者との集合写真

- 1) 災害リスク管理に関する地域機関間の協力関係を促進するための潜在的な道を探ること
- 2) 知識交換と能力開発に特に焦点を当て、地域間のパートナーシップと協力を確立するための基礎を築くこと

ADRCを代表してポトゥタン氏は、国境を越えた災害を管理する際の課題の一つは、プロトコルやロジスティック・アプローチなど、影響を受ける国々の災害リスク管理 (DRM) システムが通常異なることであると述べました。このような状況の中、ADRCは以下のような共通のプラットフォームを利用して、31カ国のメンバー国間での協力を促進していると説明しました。

- 1) GLIDE番号システムを利用した越境災害の共通識別の割り当てなど、越境リスクに関する情報共有
- 2) 衛星、特に準天頂衛星システム (QZSS) とセンチネル・アジアを利用した越境リスクの早期警報

AIDDRでの議論に基づき、ASEAN事務局は次のステップを推進することを表明しました。

- 1) 地域間の連携を強化するため、地域間対話を継続する
- 2) 更なる協力と相乗効果を発揮するための取り組みに関する情報を提供するため、地域組織のキャパシティ・マッピングを実施する
- 3) データ共有、早期警戒、知識交換の分野における協力の提案を追求する

#### 問い合わせ・配信申し込み

このニュースレターに対するお問い合わせ、またEメールによる配信をご希望の方は [editor@adrc.asia](mailto:editor@adrc.asia) までEメールをお寄せください。